

颯爽豪快

# 御柱新聞



第3号

平成28年  
2月1日発行



発行元：御柱実行委員会 発行責任者：手塚健治 作成編集：広報部

## 力合わせてワラを縋（よ）り合う 「御柱曳き綱縋り」迫る

来る2月21日、「御柱曳き綱縋り（ひきつなより）」が行われる。御柱の曳行に欠かせない綱を、氏子が一丸となって縋り合う行事だ。

材料に使われるのは、昨秋「せきとり会」の会員が作った「関取米」と呼ばれる品種の貴重なワラ。一般的なコシヒカリよりも、ワラ丈が長く、引っ張りにも強い。御柱の曳き綱の最適な材料として重宝されている。

一本一本丁寧に伸ばされたワラは、小さく束ねられ、「ヨイサ！ヨイサ！」の力強い掛け声と共に豪快に縋り上げられて行く。一連の長い作業が繰り返され、やがて太く長い曳き綱へと、見事な変貌を遂げる。

長い工程を経て完成に至る綱縋りには、大勢の氏子の力が何よりも必要だ。御柱行事の中でも、極めて重要な「綱縋り」。当日は是非、皆様のご参加と、ご協力をお願いしたい。

### 「曳き綱縋り」のご案内

日時：2月21日（日）午前8時30分

場所：神田公民館

参加者：1世帯1名以上の参加をお願いします

持物：手袋、手バサミ、マスク、タオル等



揃いのハッピを着て力強くに綱を縋る  
（平成23年2月撮影）

## 行き交う人々の目を奪う迫力 「御柱大祭 大看板」設置

去る1月16日開成中学校北交差点と千鹿頭神社入り口に「御柱大祭」の開催を告知する大看板が設置された。

平成23年の御柱大祭を写した、横幅3・6m、縦1・2mのパノラマ写真は交差点を通過するドライバーも思わず振り向く、圧巻の迫力だ。

設置には、御柱実行委員会の役員らが中心となって作業に従事。氷点下の寒い朝にも関わらず、協力して順調に作業を進めた。完成した大看板を目にし達成感と共に、御柱に向けての期待感をより一層大きくしていた。



幹線道路に設置された大看板

## 氏子の絆と和を深める歌の宴 「カラオケを楽しむ夕べ」開催

去る1月24日、

神田公民館にて「カラオケを楽しむ夕べ」が開催された。

御柱行事に忙しくなる今後に向け、氏子の「絆と和」を更に深めようと企画されたものだ。



拍手と笑い声で盛り上がる会場

この日も真冬の厳しい寒さとなったが、会場には多くの人が集まり、自慢の歌声が次々と披露された。夏の納涼祭でもお馴染みの歌手「峰ちはる」さんもゲストとして参加、力強い美声と軽妙なトークに、会場からは大きな拍手が沸き起こった。

卯酉会の会員らによる手作りの料理も提供され、参加者は真冬の歌の宴を大いに満喫していた。

## 「御柱大祭 今後の行事予定」

2月14日（日）  
藁（ワラ）すぐり  
2月21日（日）  
曳き綱縋り  
3月12日（土）  
御柱 切り倒し  
3月19日（土）  
古御柱倒し・采配作り  
3月27日（日）  
御柱 山出し  
4月24日（日）  
里曳き祭

## 中山地区 御柱仲人様・献木者様 ご紹介



第一位御柱  
仲人（和泉）  
百瀬 勝雄 様



第一位御柱  
献木者（和泉）  
竹平 富美弘 様



第四位御柱  
仲人（埴原）  
仙石 鐵也 様



第四位御柱  
献木者（埴原）  
川上 和久 様



中山 杣役  
小笠原 良一 様